

パネルディスカッション

「高等学校における外国人生徒等教育の現在

— 定時制高等学校における日本語・学習支援、多文化教育、キャリア支援の取り組みから —」

定時制高校における日本語指導と 教育の現状と課題

愛知県立刈谷東高等学校 堀直予

2022年3月5日(土)

子どもの日本語教育研究会 第7回大会

-
- 1 刈谷東高校の生徒の概要
 - 2 外国ルーツの生徒への支援の現状
 - 3 外国ルーツの生徒の教育上の課題
 - 4 これからの本校の教育活動の展望

スライドに出てくる事例は、本校で出会った生徒たちの事例を個人が特定できないように組み合わせた架空のものです

1 刈谷東高校の生徒の概要

1年生 200人募集(6クラスに展開)

入学してくるのは、不登校を経験した子ども、、ヤングケアラーなど家庭環境に困難を抱える子ども、外国にルーツを持つ子ども、などなど

→2年生になるまでに1割程度、3年生になるまでにさらに1割程度が進路変更、3年生または4年生で卒業する生徒は、入学時の7割弱。

1-1 外国ルーツの生徒の様子

パターン①

- 日系で幼少期から日本で過ごし、バイリンガル。
- 学習言語も身につけている場合が多いが、漢字は全般的に苦手。作文が難しい。
- 一見問題なく学校生活を送っている。

1-2 外国ルーツの生徒の様子

パターン②

- 小学3年生ごろに来日。
- 日本語での日常会話はできるが、学習言語までは到達しない
- 母語教育が不十分な場合もある。

1-3 外国ルーツの生徒の様子

パターン③

- 高校入学の1年前～半年前ごろに来日。
- 日本の中学校に入らないまま高校へ入学し、日本語力が不足。
- 母語を手掛かりにして日本語を習得できる。

2 外国ルーツの生徒への支援の現状

①授業への 入り込み

- 平成23年度～
- 生徒1人あたり
週2～4コマ

②日本語教室

- 平成28年度～
- 週1回授業後

③保護者会通訳

- 平成23年度～
- 今年度は38名
が利用

④文書翻訳

- 平成26年度～
- 行事の案内、成
績関係、納入金
関係文書

2-① 授業への入り込み

さくらさん 中国籍 母の再婚により、半年前に来日

いつもニコニコしておとなしく、目立たない。漢字から類推して状況を判断することができる。

健康診断の日、どこへ行って何をすることがわからず、廊下で立ちすくんでいた。

自分で日本語教室に通うなど努力家。

担任から、なんとかしてやりたいのだが、と相談が入り、仕組みを探す。

外国人生徒教育支援員の制度があることを知り、さくらさんが2年生の年から申請。

古典や理科など、週2日程度、授業に入ってもらおう。

効果

- 学習言語が追い付かない部分でも、通訳が入ることにより内容を理解することができるようになった。
- 本人の意欲がさらに増し、日本での進学を目指すようになった。
- 通訳が入ることで学校生活の困難が軽減し、自信を持てるようになり、友人ができた。

2-② 日本語教室

◆ 来日年数の浅いフィリピンルーツの生徒が増加

日本語が不自由な者同士でコミュニティを作り、日本語が上達しない。

支援時間数には限りがあり、通訳が入らない科目では赤点となるなど、通訳だけでは卒業が難しい生徒が複数。

◆ 通訳のみつかからない言語を母語とする生徒の入学

初年度

地域の日本語教室を実施している団体から2名の方に来ていただいた。

2年目

愛知教育大学のリソースルームに協力を依頼し、日本語教育を学ぶ大学生が参加。

2-② 日本語教室

ミシャエルくん 中2のときに来日。1学年下に入學
国際教室で日本語も学んでおり、日常会話に不自由はしない。
大学進学を希望。

通訳と日本語教室をうまく活用して高校での成績は上位。

日本語能力試験の学習を支援し、N1をとり、進学を目指す。

経済的事情から、日本の大学は断念。フィリピンの大学へ入学。

2-①② 授業への入り込み・日本語教室

ハナエさん 来日半年で入学。入学時はあいさつ程度しかできない。

通訳を最大限つけるが、教科書も読めず、担任が英語で会話。

支援員に依頼して教科書にふりがなをつける。

弟妹の保育園の送り迎えなどをしていて、よく学校を休む。

日本語教室に参加し、N3、N2を取得。4年生まで在籍して、卒業するころには会話に不自由しなくなり、成績も中位に。

就職は、外国人を多く受け入れている企業へ紹介。

2-③④ 保護者会通訳・文書翻訳

アイコさん 小学3年生でフィリピンより来日

日常会話は話せるが、漢字がほとんど読めない。マクドナルドでアルバイト。

授業に通訳が入り込み、かろうじて赤点にならずに済む。

両親とも日本語は話せない。保護者に成績が伝わっておらず、通訳を依頼。

(これ以降、成績のお知らせ等の書類を翻訳してもらうようになった)

キャビンアテンダントになりたいという夢があったが、経済的にも学力的にも難しく、就職。

3 外国ルーツの生徒の教育上の課題

母語支援→母語を持たないと思考が育たない

母語での文化の教育→アイデンティティの確立のために

母語による学習支援→学びを楽しむために

日本語支援→日本で暮らしていくために

日本語による学習支援→卒業するために

わかりやすい情報提供

仕組みがあれば、
高校でできること

高校でできること

4 これからの本校の教育活動の展望

日本語が不自由なら日本語の支援を

身体が不自由なら身体面の支援を

発達障害があるならそれに合った支援を

心理面が不安定なら心理面の支援を

環境に課題があるならソーシャルワークを

どの生徒にも、学ぶことを楽しんでほしい。自分が自分であっていい、という自信が持てるような手助けをしていきたい。外国ルーツの生徒の支援は、そのひとつ。

ありがとうございました

愛知県立刈谷東高等学校 堀直予